

第7章

計画の実現に向けた取組や体制の強化

● 成果指標

指 標	計画当初値	現状値 (H23)	目標値
全成果指標の達成率	—	前期基本計画に掲げる成果指標達成率 33.3%	現状値より高い比率
経常収支比率	100.6%	*95.8%	95.0%以下
実質公債費比率	7.9%	*3.7%	6.0%以下
将来負担比率	—	*47.4%	60.0%以下

※については、平成23年3月31日実績

第1節 行政経営

[めざす姿]

- 複雑・多様化する行政需要に対し、計画的・効率的に対応できる行政経営の体制がつけられ、それを担う職員が育成されていることをめざします。

[現状と取り組むべき課題]

京都府から市町村への権限移譲の動きなど地域主権改革が進むなか、高齢化の進行をはじめとする社会経済情勢の変化により、行政需要の複雑・多様化が進んでいます。財政状況が厳しいなか、複雑・多様化する行政需要にこたえていくために、計画的・効率的に対応できる行政経営の体制づくりが求められています。本市では、第4次総合計画が実効性のあるものとなるよう、3年間の計画期間とする実施計画を毎年度改定し、事務事業の進行管理を行ってきました。また、平成19年度から平成21年度を計画期間とする第4次行財政改革実施計画に取り組み、事務事業の整理合理化、事務の効率化を図ってきました。さらに、入札事務の効率化を図るため、平成22年度から京都府電子入札システムを活用した電子入札を導入し、順次運用範囲を拡大しています。

行政需要に対応する職員については、平成21年に人材育成基本方針を策定し、研修等を実施するとともに人事評価システムの導入を順次行っていますが、従来の考え方にとらわれず、幅広い視野を持って諸課題に取り組む意欲・能力を備えていく必要があります。そのような人材の採用・育成が求められています。

また、引き続き第4次総合計画後期基本計画の適切な進行管理を行うとともに、平成23年度から平成25年度を計画期間とする第5次行財政改革実施計画の推進及び簡素で効率的な組織機構の構築により、計画的・効率的な行政運営を行っていく必要があります。

さらには、今後のまちづくりに対応した施設の転用、統廃合及び再配置の検討や旧小学校の跡地利用及び既存施設の有効活用についての検討も行っていく必要があります。

[施策体系]

1. 計画的な行政経営の推進	(1) 計画的な行政経営の推進
2. 効率的な行政経営の推進	(1) 事務事業の効率化の推進
	(2) 施設の管理・運営の効率化の推進
	(3) 総合的ネットワークシステムの活用の推進
	(4) 時代の要請・課題に対応できる組織機構の構築
3. 職員の資質向上	(1) 行政サービスの充実
	(2) 職員研修の充実
	(3) 人事評価制度の確立
	(4) 時代に対応した人材の確保

[取組の内容]

1. 計画的な行政経営の推進

(1) 計画的な行政経営の推進【重点】

- ・ 総合計画に基づき、施策・事業を着実に推進していきます。
- ・ 職員の政策形成・法制執務能力の向上に努めます。
- ・ 各部局における総合調整機能の充実を図ります。

2. 効率的な行政経営の推進

(1) 事務事業の効率化の推進

- ・ 行政手続きの簡素化や、業務遂行手順の継続的な見直し・改善等を通じて、事務事業の効率化を推進します。

(2) 施設の管理・運営の効率化の推進【重点】

- ・ 今後のまちづくりに対応した施設の転用、統廃合及び再配置の検討を行うとともに旧小学校の跡地利用及び既存施設の有効活用についての検討を行います。
- ・ 指定管理者制度¹等の民間活力の導入を通じて、施設の管理・運営を効率的に行います。
- ・ 中長期的な改修・更新時期を見据えた効率的な施設管理を行います。

(3) 総合的ネットワークシステムの活用の推進

- ・ 市政情報共有化による効率的な行政を推進します。

(4) 時代の要請・課題に対応できる組織機構の構築【重点】

- ・ 簡素で効率的・機動的に対応できる組織機構の確立を図ります。

3. 職員の資質向上

(1) 行政サービスの充実

- ・ 市民へのわかりやすい説明など、窓口サービスの充実を図ります。

(2) 職員研修の充実

- ・ 人材育成基本方針に基づき、総合的かつ計画的に職員研修の充実を図ります。
- ・ 職員の自主的な学習や能力開発を促進します。
- ・ 経験豊富な職員の知識・経験等の的確な継承に努めます。

(3) 人事評価制度の確立

- ・ 職員の意欲を高める人事評価制度を確立します。

(4) 時代に対応した人材の確保

- ・ 時代に対応した人材確保に向けた職員採用制度の充実を図ります。

[市民・NPO等・事業者等に期待される役割]

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 各種市民アンケート等への協力 ・ 自治組織団体等の団体として指定管理者制度への理解と参加
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 指定管理者制度への参画
事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 入札等への適正な参加 ・ 指定管理者制度への参画

¹ **指定管理者制度**：公的施設の管理を、地方公共団体が指定する法人やその他の団体に代行させる制度。平成15年の地方自治法の一部改正により、従来の「管理委託制度」にかわり導入。

市職員数の推移

(単位：人)

年次 区分	平成20年	平成21年	平成22年	平成23年	平成24年
事務職員	281	281	284	283	284
技術職員	183	174	174	184	179
技能職員	80	74	71	64	63
消防職員	68	66	67	68	69
総数	612	595	596	599	595

(注) 各年4月1日現在。

(資料) 人事課



窓口風景(市庁舎1階市民課)

第2節 財政運営

[めざす姿]

- 徹底的な無駄の排除や、知恵を絞った事業の実施等による歳出の削減と、地域経済の活性化等による歳入の増収が図られ、財政が健全で効率的・効果的に運営されていることをめざします。

[現状と取り組むべき課題]

本市の財政は、歳入面では市民税の大半を給与所得が占めており、少子高齢化等による人口の停滞・減少等により、今後の税収の伸びは見込みにくい状況にあります。また、固定資産税においても地価の下落がみられ、増収が期待できない状況にあります。歳出面では、高齢化や厳しい経済状況を背景とした社会保障関係経費の増加が著しく、財政を圧迫しています。

地域主権改革の進展に伴い、複雑・多様化していく行政サービス需要に応えるためには、徹底的な無駄の排除や、知恵を絞った事業の実施等により、サービス水準を下げずに歳出を削減していく取組を行っていく必要があります。また、地域経済の活性化や税等の徴収率の一層の向上等により、歳入を確保していく取組も行っていく必要があります。

そのようななか、本市では、平成19年度から21年度を計画期間とする第4次行財政改革実施計画に取り組み、定員管理の適正化や各種手当の見直しなど給与の適正化を図り、一定の効果額を達成することができました。また、平成23年度から25年度を計画期間とする第5次行財政改革実施計画においては、平成23年度に「わたり」の是正を行いました。

また、平成20年度より、すべての税目でコンビニエンスストアでの納付環境を整備するなど、市税等の徴収率向上に向けた取組を進めてきました。しかし、社会経済情勢にあいまって、市の財政状況は依然として厳しいものがあり、引き続き第5次行財政改革を推進していく必要があります。

[施策体系]

1. 健全な財政運営の推進	(1) 持続可能な財政運営の推進
	(2) 市の財政状況の公表
	(3) 定員管理及び給与の適正化
2. 効率的な財政運営の推進	(1) 中期財政計画に基づく財政運営
	(2) 税等の徴収率の向上
	(3) 納税者の納付環境の整備
	(4) 市有財産の有効活用の推進

[取組の内容]

1. 健全な財政運営の推進

(1) 持続可能な財政運営の推進【重点】

- ・ 行財政改革実施計画に基づき、財政健全化に向けた取組を強化します。
- ・ 地域経済の活性化等の取組を通じて、自主財源²確保を推進します。
- ・ 事務事業の見直しにより、サービス水準を維持したコスト削減を進めます。
- ・ 使用料や負担金の適正化を図ります。
- ・ 施設の管理運営のあり方を見直し、短期・長期双方の視点からコスト削減を進めます。

(2) 市の財政状況の公表

- ・ 市の財政状況について市民への啓発を推進します。

(3) 定員管理及び給与の適正化

- ・ 職員の定員適正化計画を策定し、推進します。
- ・ 職員給与の適正化を進めます。

2. 効率的な財政運営の推進

(1) 中期財政計画に基づく財政運営【重点】

- ・ 中期財政計画に基づき効率的・効果的な財政運営を進めます。
- ・ 市民公募債³の活用を検討します。

(2) 税等の徴収率の向上【重点】

- ・ 税や使用料等の徴収率を向上させ、負担の適正化・公平化を推進します。
- ・ 京都地方税機構⁴との連携により、徴収率の向上を図ります。

(3) 納税者の納付環境の整備

- ・ 納付方法の拡大を検討し、納税者の納付環境の向上を進めます。

(4) 市有財産の有効活用の推進【重点】

- ・ 市有財産の整理及び活用を推進します。

[市民・NPO等・事業者等に期待される役割]

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な納税 ・ 公共施設の管理運営 ・ 市の財政状況への関心の高揚
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 公共施設の管理運営 ・ 行政との協働による事業の推進
事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・ 適正な納税 ・ 市民雇用の促進

2 自主財源：自治体が自主的に徴収することのできる財源。地方税、使用料、手数料、分担金、負担金など。

3 市民公募債：公共施設の建設費等の資金を直接市民から募るため、市民に購入してもらう市債。

4 京都地方税機構：京都府と府内25市町村（京都市を除く）の税業務を共同で行い、納税者の利便性向上を図りながら、より一層の公平・公正な税務行政の実現をめざす広域連合。

第3節 広域行政

[めざす姿]

- 近隣市町、府県、さらには国や遠方の自治体等を含め、福祉・防災・環境・観光等広域的な対応が必要なさまざまな課題に応じて、適切な体制が取れるよう、交流・連携が進んでいることをめざします。

[現状と取り組むべき課題]

本市では、行政の効率性・効果性の面から、周辺市町との広域的な連携等を図る取組を積極的に推進し、ごみ処理施設・処分地の維持管理、消防活動の連携のほか、災害に対応するための備蓄品の確保、広域的課題の調査研究等を行っています。また、淀川三川合流域について広く情報発信し、地域間連携を推進することを目的に、平成21年度から淀川三川ふれあい交流イベントを実施してきました。

市町村合併の進展に伴い、それまでの各種協議会等が役割を終えて相次いで廃止・解散される反面、関西広域連合⁵の設立や道州制⁶の導入検討、府内では平成19年2月に京都府後期高齢者医療広域連合⁷の設立、平成21年8月に京都地方税機構の設立など、広域行政のあり方は大きく変化しようとしています。また、東日本大震災の発生により、より広域的な自治体間の連携についても検討が求められています。

これらの動向を見据えながら、本市が自ら取り組むべき課題と広域的に解決すべき課題を適切に見極めて、広域的課題についてはこれまで以上に連携強化や機能分担を図ることにより、施策の効率性や効果性の向上をめざすことが必要です。

[施策体系]

1. 広域行政の推進	(1) 広域行政組織の活動の推進
2. 広域連携の推進	(1) 近隣市町との連携強化
	(2) 広域的な交流の推進
	(3) 国、京都府等との連携
3. 住民相互交流の促進	(1) 地域住民間の相互理解の促進

[取組の内容]

1. 広域行政の推進

(1) 広域行政組織の活動の推進

- ・「京都市圏自治体ネットワーク会議⁸」等による広域的課題への対応を進めます。

⁵ 関西広域連合：平成22年12月1日に滋賀県、京都府、大阪府、兵庫県、和歌山県、鳥取県、徳島県の関西2府5県で設立された、複数府県による全国初の広域連合。

⁶ 道州制：数府県の地域を単位とする広域行政体として、「道」または「州」を設置する制度。

⁷ 京都府後期高齢者医療広域連合：62ページ参照。

⁸ 京都市圏自治体ネットワーク会議：生活圏として一定のまとまりをもつ京都市圏の発展を図るため、既存の行政区域の枠を越え広域的課題に取り組むことを目的とし、京都・滋賀・大阪の計30自治体で構成。

2. 広域連携の推進

(1) 近隣市町との連携強化【重点】

- ・府内のみならず府域を超えて、近隣市町との連携を強化するとともに、交流を活性化します。

(2) 広域的な交流の推進

- ・さまざまな課題対応において先進的な取組を行っている都市との交流を推進します。
- ・被災地が広範に及ぶ甚大な災害時への対応を見据え、広域的な視点での都市の交流・連携を進めます。

(3) 国、京都府等との連携

- ・事務の共同化など広域的な課題解決に向けて、連携体制を強化します。
- ・歴史街道推進に向け、関係団体との連携を強化します。

3. 住民相互交流の促進

(1) 地域住民間の相互理解の促進【重点】

- ・イベントなどさまざまな広域連携事業を通じて地域住民の交流を促進します。
- ・市民による地域間交流を促進します。

[市民・NPO等・事業者等に期待される役割]

市民	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携事業への理解と参加 ・地域間交流の活性化
NPO等	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携事業への理解と事業運営への参画
事業者等	<ul style="list-style-type: none"> ・広域連携事業への理解と協力



淀川三川ふれあい交流 背割堤七夕まつり